

NO.	51	講座形式		講義型		
講座名	生物多様性保全への対応					
分野	メインの分野	地球温暖化防止	リサイクル・廃棄物	生物多様性・自然保護	森林保全・緑化	大気環境保全
	生物多様性・自然保護			○		
	水環境保全	化学物質対策	環境全般	地域環境管理	消費・生活	その他
対象者	幼稚園・保育園	小学校(低学年)	小学校(高学年)	中学生	高校生	大学生
					○	○
	一般	企業・事業所	対象 その他			
	○	○				
参加可能人数	20名～100名		実施時間	1時間～2時間		
目的	COP10以降の生物多様性を保全する対応を振り返る					
プログラム内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. COP10の成果、愛知目標 2. 国連生物多様性の10年 3. 名古屋議定書 4. 生物多様性国家戦略2010-2020 5. 生物多様性日本基金 6. 名古屋議定書実施基金 7. 国家生物多様性の10年委員会 8. 同委員会認定連携事業の紹介 9. 生物多様性分野における事業者の取組み 					
申込者側で用意していただくもの	パソコン、プロジェクター、スクリーン				申込者の材料費等負担	
条件・注意点						
代表講師氏名	園 欣彌					
代表講師経歴	1920年生まれ ■資格：工学博士、技術士(衛生工学部門)、環境カウンセラー、EA21 審査人、兵庫県地球温暖化防止活動推進員 ■専門分野：環境化学、環境工学(水処理、廃棄物処理) ■活動内容：企業の環境管理制度の確立支援、環境保全に関する技術指導、小・中学校から地域団体に及び環境学習の支援					
その他スタッフ						
メッセージ	環境関連情報を専門家でない一般県民から小・中学生に至るまで、わかりやすく丁寧に提供する事に努力したい。					